海外協力

当社は、発展途上国への技術協力・技術移転を、早くから積極的に展開してきました。事業は、JICA（国際協力事業団）などを通じた長期専門家派遣、NEDO（新エネルギー開発機構）などを通じた調査プロジェクト、またJCCP（国際石油交流センター）を通じた研修生の受け入れや講師派遣などの形で展開しています。

近年の海外協力事業は、公害防止、省エネルギーなど地球環境保全への対応をテーマとしたものが大部分を占めるようになっています。

今後も当社は、政府機関との連携・資金援助を活用し、研修・専門家派遣を通して発展途上国の省エネルギーを含む環境保全を積極的に支援していきます。

海外協力事例紹介

◎環境改善自動車燃料研究―タイ

タイでは、激しい交通渋滞による大気汚染など環境悪化が問題となっています。当社はJICAの依頼により「タイ環境改善自動車燃料プロジェクト」へ専門家及び団長を派遣しました。

このプロジェクトでは、タイの交通事情などに適したガソリン性状を把握する目的で、自動車排ガスの分析研究が、1996年から2000年までの5年間、PTT（タイ国営石油公社）の研究所で行われました。

環境改善自動車燃料研究（タイ）

◎安全管理技術―メキシコ

メキシコ国営石油公社PEMEXの事業所では、先進国と比べて事故発生件数が多く、安全体制の確立が課題となっていました。当社は、JICAの依頼により、メキシコ・サラマンカ製油所に建設された「安全訓練センター」で、設備保全を含む日本の安全管理技術の移転を行ってきました。

安全訓練センター（メキシコ）

2000年度研修実績（人）

	受入研修	直轄研修	派遣研修	JCCP枠外
研修全体	139	186	83	40
環境・省エネルギー・安全関係	21	—	20	

進行中の主な海外協力（環境保全技術、省エネルギー技術、安全管理研修のみ）

長期専門家派遣

- タイ（ESCAP）：省エネルギー技術
- タイ（PTT）：環境改善自動車燃料研究
- メキシコ（PEMEX）：安全管理技術
- メキシコ（大気汚染監視センター）：大気分析技術
- エジプト（環境モニタリングセンター）：水質汚濁分析技術
- チリ（チリ環境センター）：産業排水・水質分析技術
- マレーシア（マレーシア電気ガス庁）：ガス管理技術指導

NEDO共同実施等推進基礎調査

- タイ（科学技術環境省）：サイアム白セメントエネルギー高度化
- ミャンマー（MPE）：タンリン製油所省エネルギー
- インドネシア（プルタミナ）：ガソリン蒸気回収